

displayNo	word	word_desc
1	あいそう(愛想)	#お酒ばかり飲む夫に愛想を尽かした妻は、離婚した。「討厭」#あの店員は愛想がよい。「招待」#愛想を言う。「客套話」#愛想がない。「親切」#おーい、お愛想。「結帳」
2	あいだがら(間柄)	#林先生と山田さんは、師弟の間柄だそうです。「關係」
3	あえて(敢えて)	#あなたの将来のために、あえて忠告します。「特意、勉強」#どうしても行きたいなら、私はあえて反対しない。「並不」
4	あくどい	#あの男のあくどいやり方に泣かされた人も多い。「太過火、惡毒」#色があくどい、味があくどい。「過艶、太膩」
5	あざ(痣)	#私は生まれながらに、左手に小さなあざがあります。
6	あさましい(浅ましい)	#祖父が亡くなったとたん、遺産をめぐるあさましい争いが始まった。「卑鄙、可恥」
7	あざむく(欺く)	#敵を欺くために、一度退却するふりをした。「欺騙」#花をあざむく器量。「賽過」
8	あざわらう(嘲笑う)	#助けを求めにきた人を、何もせずあざわらっていたあの男はひどい。
9	あせる(褪せる、焦る)	#朝寝坊をしたので焦って出かけた。「急躁、着急」#何度も洗濯したのでTシャツの色が褪せた。「褪色」
10	あつけない	#有名な大学の試験だから、難しいと思ったが、あつけないほどやさしかった。「太簡単、没意思」
11	あつらえる(誂える)	#兄は、既成服に合わない体形なので、服をあつらえている。「訂做」
12	あとまわし(後回し)	#彼は自分のことを後回しにしても、他の人を助けるような人だ。「推遲、緩辦」
13	あべこべ	#道を曲がるのを間違えたらしく、あべこべの方向へ行ってしまった。「相反、顛倒」
14	あやつる(操る)	#彼女が横領したのは、陰で誰かに操られたからに違いない。「操縱」
15	あやぶむ(危ぶむ)	#遭難した船の行方は、いまだに分からず、乗組員の生存が危ぶまれている。「認為危險」
16	あやふや	#彼のあやふやな態度に、彼女は激怒した。「含糊」
17	あやまち(過ち)	#誰でも若い時は、過ちの一つや二つはおかす。「過錯」
18	あらかじめ(予め)	#あらかじめ必要なものをメモして行くと、無駄な買物をしない。「預先、事先」
19	あらっばい(粗っばい、荒っばい)	#彼はあらっばい性格に見えますが、実は優しい人なんです。「粗暴、粗野」
20	ありさま(有様)	#田中君は、彼女にふられてからというもの、食事ものどを通らない有様だ。「状態」
21	ありのまま	#ありのままの私を認めてくれる人と結婚したいと思っている。「老实、坦白」
22	ありふれる(有り触れる)	#親友の結婚祝いだから、ありふれた品ではなく、特別なものを贈りたい。「通常的、不希奇的」
23	あんじ(暗示)	#この絵の曲線は、人間の叫びを暗示しているそうだ。「暗示、示意」
24	あんじる(案じる)	#畑を荒らす野生の猿捕まえようと、一計を案じた。「(＝あんずる)思考、想出一條辦法」#事の成り行きを案じる。「掛念、担心」
25	あんのじょう(案の定)	#連休中の新幹線は、案の定、込んでいた。「果然、果如所料」
26	いいかげん(いい加減)	#ちょうどいいかげんの温度。「いいかげんにしなさい」と、母親は子どもをしかった。「適當、適可而止」#彼はいいかげんな男だ。いいかげんな返事。僕の英語はいいかげんなものだ。「敷衍、不負責任、馬馬虎虎」#もういいかげん酔った。「十分、很」
27	いいわけ(言い訳)	#あなたが言っていることは、言い訳にもならない。「辯解」#言い訳の手紙を出す。「道歉」

displayNo	word	word_desc
28	いかに(如何に)	#いかに熱弁をふるっても、彼に賛同する人はいなかった。「(いかに...でも)無論」
29	いかにも	#いかにも、おっしゃるとおりです。彼はいかにも優等生のダイブだ。「果然」
30	いき(粋)	#小林さんは、なかなか粋な人だ。「瀟灑、帥」
31	いきがい(生甲斐)	#彼から仕事をとりあげたら、生きがいがなくなってしまうだろう。「人生的意義」
32	いきごむ(意気込む)	#山下さんを説得しようと、意気込んで訪ねたのに、留守だった。「興致勃勃」
33	いくた(幾多)	#父は、幾多の困難をのりこえて、会社を大きくしてきたそうだ。「許多」
34	いじる(弄る)	#彼女は、話しながら髪の毛をいじる癖がある。「撥弄、擺弄」#人事をいじる。「隨便改動」
35	いぜん(依然)	#彼には遅刻しないよう、何度も注意したが、依然として改まらない。「仍然」
¥	いたって(至って)	#いたってのんきな弟は、よく宿題を忘れる。「甚、極」
37	いちがいに(一概に)	#田舎は住みやすいと言うが、一概にそうとも言いきれない「一概、一律」
38	いちどう(一同)	#社の発展のために、社員一同、力を合わせて頑張っている。「全体」
39	いちもく(一目)	#グラフに表すと、結果は一目瞭然だ。「一目瞭然」#彼女の才能は誰もが一目置く。「讓歩、自認遜色」
40	いちよう(一様)	#社長の言葉に、みな一様にうなずいた。「同様」
41	いちりつ(一律)	#全社員一律2パーセントの昇給が決定した。「一律」
42	いちれん(一連)	#一連の問題解決にむけて、話し合いが行われている。「一連串」
43	いっかつ(一括)	#時間がないので、三つの議案を一括して審議する。「匯總、一包在内」
44	いっき(一気)	#日頃から鍛えている彼は、120段の階段を一気にかけ上がった。「一口气、一下子」
45	いっきよに(一挙に)	#作品を一挙に完成させる。「一舉、一下子」
46	いっしん(一心)	#母は、息子の無事を一心に祈った。「一心一意」
47	いっそ	#毎月、こんなに高い家賃を払うのなら、いっそのことマンションでも買おうか。「索性、倒不如」
48	いっぺん(一変)	#彼の言葉で、その場の雰囲気が一変した。「突然改變」
49	いと(意図)	#著者の意図がよく分からない本だった。「意図」
50	いびき(鼾)	#昨夜は、同室の原田さんのいびきがうらさくて、眠れなかった。「打呼嚕」
51	いまさら(今更)	#いまさら謝られても、もう遅い。「現在才、事到如今」
52	いまだ(未だ)	#もう12月だというのに、私はいまだに志望校を決めていない。「尚未、仍然」
53	いやいや(嫌々)	#上司からの依頼なので、その会合にいやいや参加した。「勉強勉強」
54	いやに	#山中さんは、今日に限って、いやにおとなしい。「太、非常、過於」
55	いんき(陰気)	#彼女は美人だが、陰気な性格だ。「憂鬱、鬱悶」

displayNo	word	word_desc
56	うけとめる(受け止める)	#キャッチャーは、ピッチャーが投げた鋭い変化球を受け止めた。「擋住」#私の気持ちを受け止めてくださったのは先生だけです。「理解」
57	うちあける(打ち明ける)	#妻に転職したいと打ち明けたところ、賛成してくれた。「坦率説出、毫不隱瞞的説出」
58	うちきる(打ち切る)	#発掘調査は、昨日で打ち切られた。「停止、截止」
59	うちこむ(打ち込む)	#相手のコートへ、球を強く打ち込んだ。「打入」#仕事に打ち込んでいる。「専心致志、全神貫注、迷戀」
60	うちわけ(内訳)	#出張費の内訳を説明した。「詳細内容」
61	うっとうしい(鬱陶しい)	#雨が多く、うっとうしい天気が続いている。「陰鬱、沉闷」
62	うつむく(俯く)	#恥ずかしかったので、彼女はずっとうつむいていた。「低頭」
63	うつろ(虚ろ)	#何を考えているのか、高橋さんの瞳は、ぼんやりと <u>うつろ</u> だった。「空虚、発呆」
64	うつわ(器)	#料理を器に盛る。「容器」#彼は全員をまとめるリーダーの器ではない。「才幹、人才」
65	うでまえ(腕前)	#たいした腕前だ。結婚して3年もたつと、料理の腕前も上がる。「本領、手藝」
66	うめぼれ(己惚れ)	#ちやほやされて育った彼は、うめぼれが強い。彼女は美人だとうめぼれている。「驕傲、自負」
67	うまれつき(生まれつき)	#彼女がだれにでも優しいのは生まれつきの性格だ。「天性、天生」
68	うるおう(潤う)	#畑が雨で潤った。「湿润」#臨時収入で懐が潤った。「寛裕、補益」
69	うわまわる(上回る)	#今月の売上は、先月を大幅に上回っている。「超出、越出」
70	うんざり	#食べすぎたので、料理を見ただけでうんざりする。「厭膩、厭煩」
71	うんよう(運用)	#資産の運用を誤ると会社の経営が危なくなる。「運用」
72	えんかつ(円滑)	#交渉が円滑に進んで安心した。「圓滿、順利」
73	えんきよく(婉曲)	#日本語の婉曲な言い回しには、苦勞する。「婉轉、委婉」
74	えんまん(圓滿)	#紛争が圓滿に解決することを祈っている。「圓滿、美滿」
75	おいこむ(追い込む)	#彼女を自殺に追い込んだ原因は、友達の内じめだそうだ。「逼入、被迫...」#鶏を小屋に追い込む。「趕進」#ゴール前で一気に追い込む。「最後阶段的努力加勁」#この行を前ページに追い込むこと。「擠排、移前」
76	おいて(於いて)	#学業においても、運動においても、彼の右に出る者はいない。「在...方面」
77	おう(負う)	#現在の彼の成功は、母親の教育に負うところが大きい。「多虧、有賴於」#失敗した責任を負う。「担負、蒙受」#子どもを背中に負う。「背、負」
78	おおかた(大方)	#おおかたの予想どおり、小林氏は当選した。「大家、広泛的人們」#おおかたの話は王さんから伺いました。「大部分、大致」
79	おおがら(大柄)	#彼女には、大柄な模様の着物が似合う。「大花紋、大花樣」#大柄な体格のわりに、彼は小心者だ。「大骨架」
80	おおげさ(大袈裟)	#彼女の話は、いつも大げさだ。「誇張、誇大」
81	おおすじ(大筋)	#事件のおおすじが、警察側から発表された。「梗概、主要經過」
82	おおまか(大まか)	#彼は、何事にも、おおまかな人だ。「草率、馬馬虎虎」
83	おくびょう(臆病)	#うちの犬は、図体は大きいのにおく病で、猫を見ても逃げる。「膽小、怯懦」

displayNo	word	word_desc
84	おごる(奢る)	#今度夕食をおごるから、今日の残業かわってくれない。「請客」#奢った生活をしている「奢侈」#口が奢る「講究吃、品位高」
85	おしきる(押し切る)	#彼女に押し切られて、卒業旅行はイギリスに行くことになった。「堅持到底、排除(反対、困難)」#干し草を押し切って馬の餌にする。「切断」
86	おしこむ(押し込む)	#朝のラッシュ時は、駅員が乗客を電車に押し込んでいる。「塞進」
87	おしよせる(押し寄せる)	#突然の夕立に、広場にいた人々が一斉に駅構内に押し寄せた。「湧上來、蜂擁而至」#邪魔になる物は隅のほうに押し寄せておく。「挪到一边」
88	おそくとも(遅くとも)	#今夜は、遅くとも8時には帰るよ。「至遅、最晩」
89	おそれ(恐れ)	#大型の台風が上陸する恐れがあります。「憂慮、擔心」#恐れを知らぬ年ごろ「害怕、初生牛犢不怕虎」
90	おそれいる(恐れ入る)	#わざわざ届けていただき、恐れ入ります。「是在不擔當、不勝感激」#君の腕前には恐れ入った。「佩服」#こんなに寒いのに水泳とは、恐れ入った。「感到意外、吃驚」
91	おだてる(煽てる)	#彼は、おだてるとすぐいうことを聞いてくれる。「給戴高帽、煽動、慫恿」#豚もおだてりゃ木に登る。「受到慫恿猪也能上樹。指經不起吹捧」
92	おちこむ(落ち込む)	#不景気だから、収入も落ち込んでいる。「下降、下跌」#落選した野口候補は落ち込んでいる。「鬱悶、不痛快」#やせてほおが落ち込んでいる。井戸に落ち込んだ。「下陷、落入」
93	おてあげ(お手上げ)	#毎日、雨続きでは、道路工事の仕事はお手上げた。「束手無策、毫無辦法」
94	おどおど(おどおど)	#少年は何かにおびえているかのように、おどおどした目つきをしていた。「惴惴不安、心驚膽戰」
95	おどす/おどかす(脅す)	#彼は議員に対し、汚職を暴露するとおどしていた。「威脅、嚇唬」
96	おのずから(自ずから)	#今、何に興味があるか考えれば、おのずから、自分の進むべき道が見えてくる。「自然而然的」
97	おびえる(怯える)	#小犬は、大きな犬が近くに寄ってきたのでおびえていた。「害怕、胆怯」
98	おびたしい(夥しい)	#事故現場には、おびたしい量の血が流れていた。「大量、很多」
99	おびやかす(脅かす)	#あの選手も、新人選手に、レギュラーの座を脅かされている。「威脅」
100	おびる(帯びる)	#秋になり、木の葉が赤みを帯びてきた。「帶有、含有」#剣を帯びる。「佩帶」#特別の使命を帯びている。「擔負」
101	おまけ	#子どもの頃、おまけが欲しくて、よくお菓子を買った。「減価」#全部買ってくだされば、それをおまけに差し上げます。「(作為贈品)附送、白送」#おまけをつける。「添枝加葉、誇大其辭」
102	おもいつき(思いつき)	#ちょっとした思いつきから大発明が生まれることもある。「偶然的想法、設想」
103	おもむき(趣)	#時には趣を変えて、庭にテーブルといずを出して食事をしよう。「情趣、風趣」#それは以前とは趣を異にしている「情形、局面」
104	おもんじる(重んじる)	#最近、学歴よりも能力を重んじる企業が増えてきたそうだ。「重視、器重、尊重」
105	およぶ(及ぶ)	#私の日本語能力は、ジョンさんの足元にも及ばない。「趕得上、匹敵」#被害が全国に及ぶ。「洪及、達到」
106	おりかえす(折り返す)	#友人から手紙が届いたので、折り返し返事を書く。「折疊」#急用で、途中から折り返す。「返回」#折り返して電話する。「反復」
107	おろそか(疎か)	#一円でもおろそかにしてはいけない。「疏忽」
108	おんわ(温和)	#この地方は、気候が温和なため、みかんの栽培に適しているそうだ。「温和」
109	～界	#芸能界で長く生きていけるのは、ほんの一部の人だけだそうだ。「範圍」
110	かいしゅう(回収)	#アンケート用紙を回収した。「回收」
111	がいのする(害する)	#彼の一言で、気分を害してしまった。「傷害、損害」#交通を害する。「妨碍」#人を害せんとしてわが身を害する。「害人反害己」

displayNo	word	word_desc
112	がいう(該当)	#該当事項に丸印をつける。「符合、適合」
113	がいう(街頭)	#卒業論文を書くために、街頭でアンケート調査をすることにした。「街頭」
114	かいにゆう(介入)	#両国の民間レベルの交流に、政治はできるだけ介入させたくない。「介入、插手」
115	かいほう(介抱)	#病人を手厚く介抱した。「護理、服侍」
116	かえりみる(省みる)	#過ちを省みない人は、進歩しないと思う。「反省、自問」#省みてやましいところがない。「問心無愧」
117	かおつき(顔つき)	#息子は、性格も顔つきも、父親に似てきた。「相貌、様子」
118	かきまわす(掻き回す)	#スープの鍋をかきまわすと、いいにおいがした。「攪拌、混合」#会社の中をかきまわす。「搗乱、擾乱」
119	かくさ(格差)	#企業によって、社員の待遇に格差がある。「差別、差距」
120	かけ(賭け)	#佐藤さんは賭けごとに夢中になって、本業をおろそかにしている。「賭博」
121	かさばる(嵩張る)	#おみやげがかさばって、スーツケースのふたが閉まらない。「体積大、増大」
122	かさむ(嵩む)	#今月は冠婚葬祭が多かったので、出費がかさんだ。「増大、增多」
123	かじょうがき(箇条書き)	#要点を箇条書きにした。「一条条写、分項写」
124	かすか(微か)	#遠くのほうからかすかに波の音が聞こえる。「微弱的、隱約、微微的」
125	かすむ(霞む)	#富士山の山頂は、かすんでいてよく見えない。「雲霧朦朧」#目がかすんで字がよく見えない。「模糊」
126	かする(掠る)	#バットは、ボールにかすっただけだった。「掠過、擦過」
127	かそ(過疎)	#町の過疎化に、町長は悩まされている。「過稀、過少」
128	～がたい	#2年前の火災は、私にとっては忘れ難い出来事です。「不容易、難於」
129	かたこと(片言)	#1歳半の娘は、片言だが話をするようになった。「只言片語」
130	かためる(固める)	#基礎をしっかりと固めて建てたビルだったので、地震の被害も少なかった。「鞏固、加固」#荷物を固めておけ。「堆積、堆攢」
131	かたわら(傍ら)	#私が絵を描く傍らで、猫が寝ている。「傍辺」#彼は会社経営の傍ら、小説を書いている。「一辺...一辺...」
132	かっきてき(画期的)	#彼は画期的な発明をした。「劃時代的」
133	がっくり	#完走したとたん、がっくりと膝をついた。「突然無力的」#不合格と知り、がっくりときた。「頹喪、灰心」
134	がっしり	#彼は、体ががっしりしている。「粗壯、健壯」
135	がっち(合致)	#双方の希望が合致した。「一致、吻合」
136	がっちり	#あのチームはがっちりとスクラムを組んで、最後まで戦った。「牢固、堅固、緊緊的」#がっちり屋「守財奴」
137	かつて	#かつて見たこともないほど、美しい海だった。「至今(從未)」#かつては記者だったこともある。「曾經」
138	かなう(叶う)	#思いがかなって、彼と結婚することになった。「希望實現、如願以償」
139	かなわない(叶わない/適わない/敵わ	#体力では、彼にかなわない。「比不上」#今日は暑くてかなわない。「經不起、受不了」#叶わない恋(實現不可能である)。立つことも歩くことも敵わない(實現させる力がない)「不能實現」

displayNo	word	word_desc
140	かねて(予て)	#かねてから希望していた弁護士になることができた。「老早以前、事先」
141	かばう(庇う)	#正義感が強い彼は、子供の頃から弱い者をかばっていた。「庇護、袒護」
142	かぶれる	#化粧品で肌がかぶれ、かゆい。「起炎症」#彼はすっかり哲学にかぶれている。「着迷、熱中」
143	かみ(加味)	#田中さんの意見も加味したうえに、計画書を作成した。「摺加、採納」#酢が加味した料理。「添加調味料」
144	からだつき(体つき)	#山本さんは、モデルのような体つきをしている。「体形、身材」
145	からむ(絡む)	#あの人は、お酒を飲むと、すぐに人にかからむから、気を付けたほうがいい。「找茬糾纏、無理取鬧」#彼は義理に絡まれていやとは言いかねた。「密切相關、緊密相連」#つる草が木に絡む。「纏上、繞上」
146	かり(仮)	#救急隊員は、かりの処置だけ行い、医者に任せた。「臨時、暫時」#これはかりのたと言話だ。「假定」#仮の名。「化名」。仮の親「義父義母」
147	かれる(枯れる)	#このまま才能がかれていってしまうのだろうか。「枯竭衰竭」
148	かろうじて	#かろうじて、難を逃れることができた。「好容易才」
149	かわす(交わす)	#二人は、一年後に結婚する約束を交わした。「互相、交換」
150	かんげん(還元)	#企業の利益を、文化事業で会社に還元する。「歸還」
151	かんさん(換算)	#1インチはセンチメートルに換算すると、約2.54センチメートルになる。「折合、換算」
152	がんじょう(頑丈)	#あの人は体が頑丈で、一度も病気になったことがない。「健壯、強壯」
153	かんじん(肝心)	#細かいことに気をとられて、肝心な点を見落とす。「重要、首要」
154	かんせい(歓声)	#プール開きの日、プール中に水しぶきと歓声があがった。「歓声」
155	かんべき(完璧)	#たくさん勉強したので、これでテストの準備は完璧だ。「完善、完美」
156	かんよう(寛容)	#子供同士のケンカなので、寛容な態度で臨むことにした。「寛容」
157	がんらい(元来)	#馬は元来優しい動物だ。「生來、本來」
158	かんろく(貫禄)	#彼には部族の長としての貫禄がある。「尊嚴、威嚴、派頭」
159	きがい(危害)	#熊が人に危害を加える事件が起こった。「危害」
160	きかざる(着飾る)	#パーティーには、思い切り着飾って出かけましょう。「盛装、打扮」
161	きがね(気兼ね)	#咳が止まらず、コンサートの間じゅう、まわりの人に気兼ねをした。「顧慮、拘謹、不自在」
162	きがる(気軽)	#いつでも気軽に飲める本格的な味の缶コーヒーが増えてきた。「舒暢、爽快」
163	きき(危機)	#あの芸能人同士のカップルは、しょっちゅう離婚の危機を噂されている。「危機」
164	ききめ(効き目)	#塩分制限の効き目が出始め、近頃血圧が安定している。「效驗、效力、靈驗」
165	きざ(気障)	#あの男の紳士ぶったきざな振舞いは、みんなに嫌われている。「裝模作樣、擺臭架子」
166	きざし(兆し)	#その少年が罪を犯すような兆しは、学校でもまったくなかった。「兆頭、征兆」
167	きしつ(氣質)	#彼は、おだやかな氣質の人だ。「氣質」

displayNo	word	word_desc
168	きしむ(軋む)	#古い建物の中を歩くと、床がきしんで鳴った。「吱吱嘎嘎響」
169	きづく(築く)	#あの人は自分の力だけで、現在の地位を築き上げた。「建立、積累、筑成」
170	きだて(気立て)	#彼女は気立てが優しいので、みんなに好かれている。「性情、脾氣」
171	きたる(来る)	#きたる10月10日に運動会を行う予定です。「下次的」
172	きちつと(=きちんと)	#子供は、母の言いつけを、きちつと守った。「好好的、牢牢的」#きちんと部屋を片付けた。「整整齊齊」#勘定をきちんと払う。「準時、如期」#きちんと腰かける。きちんと訳す。「端正、恰當」
173	きしょうめん(几帳面)	#父は几帳面な人なので、私の生活態度には口やかましかった。「規規矩矩、一絲不苟」
174	きっかり	#8人できっかり8等分した。「正好、恰好」
175	きっちり	#きっちり3時に、この場所で会いましょう。「整」#きっちり蓋をする。「嚴、無誤差」
176	きっぱり	#押し売りのような売り方なので、きっぱりと断わった。「果断、斬釘截鐵」
177	きどう(軌道)	#モノレールは、1本の軌道にまたがって走る。「軌道」
178	きひん(気品)	#この絵は、実に巧みに描かれているが、気品に欠ける。「意境、品格、氣度」
179	きふく(起伏)	#あの人は、山あり谷ありの、起伏の多い一生を送った。「起伏、起落」
180	きまぐれ(気まぐれ)	#きまぐれに布をつないでいったら、きれいなパッチワークの作品になった。「心血來潮、反復無常」
181	きまじめ(生真面目)	#あの人は生真面目すぎて、ときどき損をしている。「一本正經」
182	きまりわるい(決まり悪い)	#初めてパーティーに招待された彼女は、きまり悪そうにモジモジしていた。「不好意思、難爲情」
183	きゃしゃ(華奢)	#このドレスは、きゃしゃな感じの女性に着て欲しい。「苗條、芊細」
184	きゆうきよく(究極)	#自分で納得する究極の作品ができる前に、先生は亡くなってしまった。「最終、極端」
185	きゆうくつ(窮屈)	#子供は成長が早いので、去年の服がもう窮屈だ。「緊、瘦小」#おじの家にいるのは窮屈だ。「感覺受拘束」
186	きゅうち(旧知)	#今日の会は、旧知の人ばかりの集まりです。「故知、老友」
187	きょうい(驚異)	#あの人が合格するなんて、驚異だ。「驚異、驚奇」
188	きょうかん(共感)	#この本の著者の意見に共感した。「共感、共鳴」
189	きょうぐう(境遇)	#親兄弟と引き離され、孤独な境遇に育った。「環境、处境」
190	きょうじる(興じる)	#学生でありながら、芝居に興じて、学業をおろそかにしている。「感興趣、以...自娛」
191	きょうめい(共鳴)	#その政治家の発言に共鳴して、その人の属する政党に入った。「同感、贊同」
192	きょうれつ(強烈)	#あの人の強烈な個性は、彼の服装に表れている。「強烈」
193	きよくたん(極端)	#あの人の発言は、いつでも極端だ。「極端、過火」
194	きよらか(清らか)	#赤ちゃんの瞳は、清らかであどけない。「清潔、乾淨」
195	きらびやか	#花嫁は、きらびやかな衣装に身を包んでいた。「華麗、光輝燦爛」

displayNo	word	word_desc
196	きりかえる(切り替える)	#休日には、頭を切り替えて、仕事を忘れたほうが良い。「轉換、改換」
197	きわめて(極めて)	#あなたには、努力を続けて、学問の道を極めて欲しい。極めて重大な問題だ。「極其、非常」
198	ぎんみ(吟味)	#良い料理は、材料を吟味することから始まる。「斟酌、揀選」
199	きんもつ(禁物)	#高血圧の人に、漬物など塩分の多い食物は禁物です。「切忌、忌諱」
200	くいちがう(食い違う)	#意見が大きく食い違い、議論にもならなかった。「不一致、有分歧」
201	くぐる(潜る)	#のれんをくぐって店に入る。「钻過」#法の網をくぐる。「钻法律空子」
202	くじ(籤)	#席順を決めるため、くじを引く。「抓阄兒、抽籤」#賞金にひかれて宝くじを買った。「彩票、獎券」
203	くすぐったい	#あまりにも大げさにほめられて、名だかくすぐったかった。「難爲情」
204	ぐち(愚痴)	#母は父のことで、いつも愚痴をこぼしていた。「發牢騷、抱怨」
205	くちずさむ(口ずさむ)	#幼い頃、一緒に歌った歌を皆で口ずさんだ。「哼、吟、誦」
206	くちる(朽ちる)	#彼の業績は、永遠に朽ちることなく、語りつがれる。「腐朽、衰敗」
207	くつがえす(覆す)	#今回の発見は、これまでの定説を覆す歴史できなものだ。「翻轉、被推翻」
208	くっきり	#空に、飛行機雲が、くっきりと見える。「清楚、顯眼」
209	くっせつ(屈折)	#この小説家の心理状態には、屈折したものがある。「歪曲、扭曲」#屈折の多い海岸線。「彎曲、曲折」#光線は水に入ると屈折する。「折射」
210	ぐっと	#駅を出ると電車はぐっとスピードを上げた。「一下子、一氣的」#言葉にぐっと詰まる。「啞口無言」
211	くみあわせる(組み合わせる)	#対戦するチームを組み合わせる。「分組、搭配」#ブロックをうまく組み合わせ、城を作る。「搭在一起」
212	くろうと(玄人)	#彼女の書道の腕前は玄人も驚く。「内行、專家」
213	けいき(契機)	#病気を契機にタバコをやめた。「契機、轉機」
214	けいそつ(軽率)	#列車事故の原因は、運転手の軽率な判断にあった。「輕率、草率」
215	けがらわしい(汚らわしい)	#そんなひどい噂話は、聞くのもけがらわしい。「卑鄙、骯髒、猥褻」
216	げっそり	#不合格の知らせに、息子はげっそりとやせてしまった。「急劇消瘦」#入試に落ちてげっそりする。「驟然灰心」
217	けつぼう(欠乏)	#大雪に閉じ込められて、だんだん食料も欠乏してきた。「缺乏、缺少」
218	けとばす(蹴飛ばす)	#大男にむこうずねを蹴飛ばされ、痛さにしゃがみこんでしまった。「踢開、踢倒」#申し出を蹴飛ばした。「拒絶」
219	けなす(貶す)	#お気に入りの洋服をけなされ、彼女は機嫌が悪い。「貶低、貶斥」
220	けんぎょう(兼業)	#彼の家は農家といっても、お父さんが会社勤めをしている兼業農家だ。「兼営、兼業」
221	けんげん(権限)	#審判の権限で試合は中止になった。「権限、権力」
222	けんざい(健在)	#祖父は、田舎で健在だ。「健在」#彼の才能が健在であることをアピールした「保持原有状態」
223	けんぜん(健全)	#会社経営が健全である。「制度面の健全」#彼は健全な肉体と精神を兼ね備えている。「心身面の健全」

displayNo	word	word_desc
224	けんち(見地)	#消費者の見地からすると、この決定は妥当なものと言える。「観点、立場」
225	げんみつ(厳密)	#厳密な審査の末、彼女が選ばれた。「厳密、周密」
226	けんめい(賢明)	#あの人は賢明な人なので、考えを一度聞いてみた方がよい。「明智、高明」
227	けんやく(儉約)	#彼女は儉約家なので、貯金が増える一方だ。「節約、節省」
228	けんよう(兼用)	#そのTシャツは男女兼用だ。「兩用、合用」
229	こうい(好意)	#彼は、彼女にひそかに好意を抱いている。「好意、美意」
230	こうきょう(好況)	#不況期が終わり、好況の兆しが見えてきた。「繁榮、景氣」
231	こうこう(煌々)	#クリスマスのイルミネーションが、夜空にこうこうと輝いていた。「亮堂堂、輝煌」
232	こうじょ(控除)	#父は、税金から祖母の分の扶養控除が受けられる。「扣除」
233	こうしょう(高尚)	#彼の趣味は、クラシック音楽の鑑賞と演奏で、実に高尚なものばかりだ。「高深、高尚」
234	こうたく(光沢)	#こんな美しい光沢の生地は見つけない。「光沢」
235	こうみょう(巧妙)	#詐欺師は巧妙な手口で、被害者を信用させた。「巧妙」
236	こがら(小柄)	#彼は小柄だが、一流の選手だ。「身材短小」#小柄な模様の服がよく似合う。「小花様、碎花紋」
237	ここ(個々)	#条件や環境が異なるので、この問題は個々に検討すべきだ。「毎個、個自」
238	ここち(心地)	#上司にほめられ、天にも昇る心地がした。「感覺、心情」#寝心地のよいベッドを買う。「躺着的感覺」
239	こころえ(心得)	#敬語の使い方の心得がないようでは、社会人として失格だ。「知識、經驗、心得」
240	こころがける(心掛ける)	#普段からよく歩こう心掛けてください。「注意、留心、留意」
241	こころざす(志す)	#彼は画家を志して、学校を退学した。「立志、志向」
242	こころづよい(心強い)	#あの人は、私たちにとって心強い味方だ。「放心、有把握」
243	こころぼそい(心細い)	#あの山に登るのに、この装備では心細い。「心中沒底」#懐が心細くなる。「囊中羞涩」
244	こころみる(試みる)	#新しい企画を試みたが、結果は失敗に終わった。「試試」
245	こころよい(快い)	#夕方の風が頬に快い。「愜意」#彼は私のお願いを快く引き受けてくれた。「痛快、爽快」
246	ごさ(誤差)	#多少の誤差を、最初から計算に入れて設計する。「誤差」
247	こじれる(拗れる)	#田中さんが参加したら、もっと話がこじれてしまった。「複雑化」#こじれると手がつけられない。「别扭、執拗」
248	こだわる(拘る)	#済んでしまったことに、いつまでも拘っていてもしょうがない。「執著」#小事に拘る。「拘泥」
249	こちょう(誇張)	#彼は、自分の手柄を誇張して言い過ぎる。「誇張、誇大」
250	こつ	#こつをつかんでから、商売がうまくいくようになった。「秘訣、竅門」
251	こっけい(滑稽)	#彼女は、はたから見ると滑稽なほど、髪の手入れに執着している。「滑稽、詼諧」

displayNo	word	word_desc
252	ことごとく	#投資の失敗で、財産をことごとく失ってしまった。「一切、全部」
253	ことに(殊に)	#今年の冬は殊に冷え込みが厳しい。「特別、格外、尤其」
254	ことによると(事によると)	#約束はしたが、ことによると彼女はこないかもしれない。「或許、說不定」
255	こなごな(粉々)	#ガラスが割れて粉々になった。「粉碎、粉末」
256	このましい(好ましい)	#この頃、好ましくない事件が続いている。「可喜、令人滿意」
257	こべつ(個別)	#今日から2年生の個別指導が始まる。「個別」
258	コマーシャル	#今の子供は、コマーシャルのおかげで、何でも知っている。「商務的、商業廣告」
259	ごまかす(誤魔化す)	#彼は都合が悪いと笑ってごまかす。「敷衍、蒙混」#税金をごまかす。「舞弊、作假」
260	こまやか(細やか)	#このペンダントは、模様が細やかで美しい。「細致」#下町は人情が細やかだ。「深厚、濃厚」
261	こめる(込める)	#この手料理は、母が心を込めて作ったものだ。「精心、貫注」#銃に弾丸を込める。「装填」
262	こもる(籠る)	#部屋中にタバコの煙がこもってしまい、気分が悪い。「充滿、不通氣」#家に籠る「閉門不出」#声が籠る。「聲音(口齒)不清楚」#内に籠る。「悶在、憋在」
263	こゆう(固有)	#能は日本固有の伝統芸能だ。「固有、特有」
264	こらす(凝らす)	#目を凝らしてのぞいてみると、水面下にきれいな魚が見える。「凝、集中」
265	こりる(懲りる)	#何度も失敗しているが、彼は懲りずにまた商売を始めた。「教訓、懲罰(因吃過苦頭而不敢再嘗試)」
266	こる(凝る)	#私は今、料理に凝っている。「熱中、狂信」#凝った模様のセーターを編む。「煞費苦、心下了功夫」
267	こんき(根気)	#レース編みは、根気のいる仕事です。「耐性、耐心」
268	さいく(細工)	#手作りの家具は、細工が精巧で美しい。「工藝、精細」#陰で細工をする。「玩弄技巧、耍花招」
269	さえぎる(遮る)	#相手の言葉を遮ってしまい、口論になった。「遮欄、打斷、阻擋」#新ビルによって日光が遮られる。「遮蔽、遮擋」
270	さえる(冴える)	#疲れているのか、近頃顔色がさえない。「(否定)洩氣、失望、無精打采」#さえた腕。「純熟、靈敏」#雨で紅葉がいちばんとさえる。「鮮明、清澈」
271	さける(裂ける)	#秘密にすると約束したので、口が裂けても言わない。「撕裂」
272	さしかかる(差し掛かる)	#橋の上にさしかかった時、向こうからやってくる母を見つけた。「路過、靠近」#そろそろ雨季に差し掛かる。「臨近」#木の枝が塀に差し掛かっている。「垂懸、籠罩在」
273	さしず(指図)	#社長は部下たちに指図して、新しい契約をまとめさせた。「指示、吩咐、命令」
274	さしつかえる(差し支える)	#あまり親しくなりすぎると、仕事にさしつかえる。「妨礙、有影響」
275	さする(摩る)	#父のくせは、考え込む時に、額をさすることだ。「摩撫、輕撫」
276	さぞ	#そんな手紙が届いたなんて、さぞびっくりなされたことでしょう。「想必、一定是」
277	さだまる(定まる)	#お天気が定まらないので出発できない。「穩定、安定」#方針が定まった。「決定、確定」
278	ざつ(雑)	#あの人は雑な性格なので、よく小さな失敗をする。「草率、粗枝大葉」
279	さっする(察する)	#彼女の気持ちを察して、彼は優しい言葉をかけた。「推測、揣測」#こちらの事情も少しは察してほしいものだ。「體諒、諒察」

displayNo	word	word_desc
280	さっと	#冷たい風がさっと引き抜ける。「突然、驟然」#メモにさっと目を通す。「很快」
281	さっぱりする	#シャワーを浴びてさっぱりした。「爽快」#今日は何かさっぱりしたものが食べたい。「清淡、不油膩」#売り上げがさっぱりだ。「冷清、糟糕」#試験のことはきれいさっぱりと忘れてしまった。「完全、徹底」#さっぱりした身なりをしている。「整潔、利落」
282	さなか(最中)	#食事の最中、歯が痛み出した。「正當中、最高潮」
283	さほど	#あの人は、さほど怒りっぽいわけではない。「(並不)那樣」
284	サボる	#彼女は、会社をサボってバーゲンに行った。「怠工、偷懶」
285	さわる(障る)	#彼の言うことは、いちいち気に障る。「得罪、傷害感情」#夜ふかしは健康に障るぞ。「妨礙」
286	さんび(賛美)	#彼女気高さを、皆が賛美した。「贊美」
287	しあがり(仕上がり)	#料理長は、すべての料理の仕上がりをチェックする。「完成情況、做好準備」
288	しあげ(仕上げ)	#あの大工さんの仕上げは、いつもきれいだ。「作完的結果」#仕上げが肝心。「一錘定音」
289	しいて(強いて)	#こんな雨なのだから、強いて出かけることはない。「勉強一定」
290	しいる(強いる)	#近所の付き合いで、商店会の行事に寄付を強いられた。「強迫」
291	しいれる(仕入れる)	#その日の朝に仕入れた新鮮な材料で、料理を作る。「購入、買入」#インターネットで最新情報を仕入れた。「取得、獲得」
292	しかける(仕掛ける)	#明日の朝、早起きするため、目覚まし時計を仕掛けた。「設置、佈置」#いたずらを仕掛ける。「挑衅」#夕食の準備をしかけたところで電話が鳴った。「開始做」#しかけてやめた。「途中」
293	しきる(仕切る)	#今回のパーティーの進行を、彼が仕切る。「主持、掌管」#部屋を二つに仕切って姉妹で使う。「隔開」
294	しくじる	#今度はしくじらないよう、準備を万全にして試験に臨んだ「失敗、失策」
295	しくみ(仕組み)	#世の中の仕組みには、ときどき納得のいかないところがある。「規定、結構」
296	じざい(自在)	#彼は新しい機械を自在に操る。「自由自在」
297	しじ(支持)	#彼女の提案は、支持された。「支持、擁護」
298	したごころ(下心)	#彼が急に親切になったのは、下心があるからに違いない。「用心、企圖」#彼のしたごころを見抜く。「内心、本心」
299	したじ(下地)	#彼女は下地ができていたので、上達が早かった。「素質、基礎」
300	したしらべ(下調べ)	#今日の公開授業のため、入念な下調べをした。「預習、預先調査」
301	したどり(下取り)	#古い自動車を下取りしてもらい、新車を少々安く買った。「用舊物折價貼換新物」
302	したび(下火)	#1時間の消火活動で、火はようやく下火になった。「衰退、微弱」
303	シック	#この部屋のインテリアはとてもシックだ。「雅致」
304	じっくり	#旅行の計画を友人とじっくり相談する。「仔細的、踏踏實實」
305	しつけ(躰け)	#彼女はしつけの厳しい家庭で育った。「教養、家教」
306	しとやか(淑やか)	#あの人の歩き方は、しとやかで上品だ。「端莊、穩重」
307	しなびる(萎びる)	#水をやり忘れたので、花がしなびてしまった。「枯萎」

displayNo	word	word_desc
308	しなやか	#体操選手の体は、とてもしなやかだ。「柔美、優美」
309	しのぐ(凌ぐ)	#輸出の増加は、円安当時をしのぐ勢いだ「擺脫、抵御」
310	しぶい(渋い)	#このお茶は渋すぎる。「澀」#彼女は若いわりに、洋服の好みは渋い。「素雅、質樸」#娘の話を聞いて父は渋い顔をした。「不快、不滿意」
311	しぶとい	#彼はしぶとい打者なので、ここでピットを打つかも知れない。「頑強」#まったくしぶといやつだ。「頑固、倔強」
312	しみる(染みる)	#寒さが厳しく、骨身にしみる。「刺(骨)」#Tシャツの背中に汗がしみ出ている。「染上、滲浸」#教訓が身にしみる。「銘刻」
313	しめい(使命)	#与えられた使命を実行する。「使命」
314	しや(視野)	#視力が落ちていなくても、視野が狭まったのなら、眼科で受診したほうがよい。「視野」#彼は広い視野に立ってものを考える。「眼界」
315	じゃっかん(若干)	#予算が若干余ったので、新しいテレビを買った。「若干、少許」
316	ジャンル	#本棚の本をジャンル別に整理してください。「種類、体裁、流派、風格」
317	しゅうし(終始)	#彼の言い分は終始一貫していた。「從頭到尾」
318	しゅうちゃく(執着)	#父はこの土地に執着しているので、引っ越すことはないだろう。「留戀、執著、貪戀」
319	じゅうらい(従来)	#従来どおりのやり方には限界がある。「一如既往」
320	しゆくめい(宿命)	#何をやっても失敗ばかり、これが宿命なのだろうか。「宿命」
321	しゅっせ(出世)	#彼は確実に出世するだろう。「成功、発跡、晉升」
322	じゅんじる(準じる)	#この場合は、今までの規則に準じて処罰するしかない。「以...為標準」
323	しょう(仕様)	#もはやどうにもしょうがなかった。「辦法」#箱の中にやり方の書かれた仕様書がある。「規格」
324	じょう(情)	#私は二人の情にうたれ、協力を申し出た。「情面、人情」
325	しょうする(称する)	#あの人は、自分を完璧主義者と称している。「自稱」#病氣と称して会社を休む。「假稱、僞稱」
326	しょざい(所在)	#宮城県の県庁所在地は仙台だ。「所在地」#責任の所在を明らかにする。「所在」
327	しょじ(所持)	#彼はいつもパスポートを所持している。「持、携帯」
328	しょっちゅう	#彼は、しょっちゅう遅刻している。「經常、總是」
329	しゅゆう(所有)	#彼がこの土地の所有者だ。「所有」
330	しんそう(真相)	#真相が明らかになるまで、事件の調査は続いた。「真相」
331	じんそく(迅速)	#客の苦情を迅速に処理する。「迅速」
332	しんにん(信任)	#彼を会長に信任する。「信任」
333	しんぼう(辛抱)	#長年辛抱してきたが、やっと新しいアパートに移ることができた。「忍耐、忍受」
334	ずえる(据える)	#人形を台座に据えて飾った。「安設、放置」#背中中の痛い所に灸を据えた。「灸治」#目を据えて見る。「沉著、凝視」
335	すがすがしい(清々しい)	#高原の風と空気はすがすがしい。「清爽」

displayNo	word	word_desc
336	すくう(掬う)	#縁日の屋台で金魚をすくう。「撈取、掬取」
337	すこやか(健やか)	#あの家の子供たちは、皆健やかに育っている。身も心も健やかでありたい。「健壯、健康」
338	すすぐ(漱ぐ#濯ぐ#雪ぐ)	#彼は、努力して過去の汚名をすすいだ。「洗刷」#丁寧にすすぎ洗いをする。「洗滌」
339	すそ(裾)	#スカート丈が長いので、5センチメートルくらい裾を上げた。「下擺、褲脚」
340	すたれる(廃れる)	#最近の流行は、すぐに廃れる。「過時、衰退」
341	ストレス	#新しいお店の売り上げが伸びず、ストレスがたまる一方だ。「精神圧力」
342	すばしこい	#泥棒はすばしこくて、逃げ足が早かった。「敏捷、利落」
343	すばやい(素早い)	#あの選手の攻撃はとても素早い。「快速、敏捷」
344	ずばり	#あいまいな意見が多い中で、彼だけがずばりと答えを出した。「撃中要害、一語道破」
345	ずぶぬれ(ずぶ濡れ)	#途中で川に落ちてしまい、小犬はずぶぬれた。「全身湿透」
346	すみやかに(速やかに)	#この件に関しては、速やかに対策を立てる必要がある。「迅速、及時」
347	ずらっと	#あの店には、新商品がずらっと並んでいる。「成排的」
348	ずるずる	#あやふやな態度で、返事をずるずると引き延ばす。「拖拉、緩慢、不乾脆」
349	すれちがい(すれ違い)	#山登りの時は、知らない人同士でも、すれ違いざまに声をかけあう。「交錯」
350	すんなり	#彼女は、手足がすんなりとして背が高い。「苗條」#事件はすんなりと解決した。「順利、不費力」
351	せいか(成果)	#彼は営業の仕事で成果を収めた。「成果」
352	せいぜん(整然)	#棚の上に、植木鉢が整然と並んでいる。「井然有序、有條不紊」
353	せいとう(正当)	#彼の言い分は正当だ。「正当、合理」
354	せいめい(声明)	#その小国の指導者は、内外に緊急声明を発表した。「声明」
355	せかず(急かす)	#すぐに出発しますから、そう急かさなくてください。「催促」
356	せじ(世辞)	#彼はだれにでもお世辞を言う。「恭維、奉承」
357	ぜせい(是正)	#不公平な給与体系の是正をする。「更正、訂正」
358	せつじつ(切実)	#今年の夏の水不足は切実だ。「切実、迫切」
359	せつない(切ない)	#卒業して友達と離ばなれになるのは切ない。「悲痛、悲傷」
360	センス	#彼女は洋服のセンスがよい。「品味、感覺」
361	ぜんてい(前提)	#全員参加を前提に旅行の計画を立てる。「前提」
362	そっぽ	#けんかした後、妹は呼んでもそっぽを向いて返事をしなかった。「扭向一邊、不理睬」
363	そびえる(聳える)	#富士山は他のどの山よりもた高くそびえている。「聳立、峙立」

displayNo	word	word_desc
364	そらす(逸らす)	#事故の悲惨さに思わず目にそらした。「回避、轉移」
365	そる(反る)	#材木は乾燥させないと、あとで床板などが反る。「彎曲、翹曲」#思いきり胸を反らせて深呼吸する。(身子向後彎、挺胸)
366	ぞんざい	#ぞんざいな受け答えをすると、その人自身の印象を悪くします。「草率、馬虎」
367	たいしょ(対処)	#相手が大量なので、対処を間違えると責任問題にもなりかねない。「處理、應付」
368	だいなし(台無し)	#楽しみにしていたキャンプも、雨で台無しになった。「斷送、糟蹋」
369	タイミング	#いつ頼みごとを切りだそうかとタイミングを見計らっている。「時機」
370	たくましい(逞しい)	#ひ弱だった彼も、苦勞してからすっかりたくましくなった。「堅強、旺盛、健壯」
371	たくみ(巧み)	#漁師は、巧みに綱を操って魚を追いつんでいく。「巧妙、精巧」
372	たずさわる(携わる)	#この仕事に携わるのが私の小さい時からの夢でした。「參與、從事」
373	たっせい(達成)	#売り上げの目標を達成する。「達成、完成」
374	たてまえ(建前)	#商人は、お客さま第一を建前としている。「方針、原則」#本音と建前は別だ。「場面話」
375	たどる(辿る)	#歴史をたどって、ことばの意味の変化を知る。「追溯、探索」#破滅の運命をたどる。「走向」
376	たばねる(束ねる)	#洗った髪を一つに束ねる。「包、捆、束」#町内を束ねる。「管理、整頓」
377	だぶだぶ	#今の若者のあいだでは、だぶだぶのズボンが流行している。「又肥又大」#ソースをだぶだぶにかける。「満、盈」
378	たもつ(保つ)	#安定した生活を保つためには、最低限の収入が必要だ。「保持、維持」
379	たやすい(容易い)	#彼の技術があれば、一日で仕上げるのはたやすい。「容易、輕易」
380	たよう(多様)	#日本でも、雇用形態は多様になってきた。「多種多様」
381	だるい	#月曜の朝は、少し体がだるいように思う。「発倦、慵懶」
382	たるむ(弛む)	#大きな仕事を一つ片づけたら、気がたるんでしまった。「松懈」
383	たんいつ(単一)	#単一民族から成る国家は数少ない。「単一」
384	ちやくもく(着目)	#着目すべき点を間違えると、問題が思わぬ方向へ進んでしまう。「著眼、注目」
385	ちやほや	#田中さんは一人っ子なので、ちやほやされて育った。「溺愛、嬌養」
386	ちゅうこく(忠告)	#あの時、君の忠告がなければ、今頃私はどうなっていたかわからない。「忠告」
387	ちゅうしょう(中傷)	#そんな噂は、私を陥れるための中傷にすぎない。「中傷、誹謗」
388	ちょうほう(重宝)	#彼女はよく気がつくので、皆から重宝されている。「器重、愛惜」#いろいろに使えて重宝な用具。「便利、適用」
389	ちよくちよく	#彼はちよくちよくこの店にくるので、近いうちに会えると思う。「時常、往往」
390	ちらつと#ちらりと	#電車の中でちらつと見ただけなので、よく覚えていない。「一闪、一晃」
391	ついやす(費やす)	#彼女は、一日のほとんども読書に費やす。「花費」#つまらないことでむだに時間を費やした。「浪費」

displayNo	word	word_desc
392	つうせつ(痛切)	#挑戦者はチャンピオンに敗れて、力の差を痛切に実感した。「痛切、深切」
393	つかのま(束の間)	#彼は、束の間の休暇を思いっきり楽しんだ。「轉瞬、轉眼之間」
394	つきなみ(月並み)	#企画会議は長時間に及んだが、月並みな案しか出なかった。「平庸、平凡」#月並みの行事。「毎月」
395	つきる(尽きる)	#がむしやりに働いてばかりいると、体力がつきてしまう。「用完、窮尽」
396	つくす(尽くす)	#全力を尽くして戦ったが、いま一步及ばなかった。「尽力、皆尽」
397	つくづく	#つくづく会社が嫌になった。「深切、痛切」#つくづく考える。「仔細」
398	つげる(告げる)	#別れを告げる場面は、涙を誘われる。「告知、通知」
399	つじつま(辻褄)	#この小説は前半と後半で矛盾があり、話のつじつまが合わない。「條理、首尾、前後」
400	つつしむ(謹む)	#失礼にならないよう言葉を謹む。「謹慎、慎重」#病氣中はタバコを謹みなさい。「節制」#謹んで新年のお慶びを申し上げます。「謹、敬」
401	つっぱる(突っ張る)	#そんなに最後まで突っ張るのなら、もう勝手にしなさい。「支撐、頂」#横腹が突っ張る。「突然劇痛」
402	つとめて(努めて)	#複雑な話を、努めて簡単に伝えようとした。「盡量、盡可能」
403	つねる(抓る)	#彼はあまりのうれしさに、夢ではないかと自分のほおをつねってみた。「擰、招」
404	つのる(募る)	#交通安全の標語を、広く一般から募ることにした。「征集、招募」#離れれば離れるほど恋しさが募る。「越來越厲害」
405	つぶやく(呟く)	#独り暮らしを始めてから、老人はしょっちゅう何かつぶやくようになった。「發牢騷」
406	つぶら(円ら)	#子供のつぶらな瞳を見ていると、心がなごむ。「圓」
407	つぶる(瞑る)	#顔の前で手を叩かれると、人は思わず目をつぶる。「閉眼」#いましばらく目をつぶっててください、そのうちに彼もわかってくれるでしょう。「假裝不知道」
408	つまむ(摘む#撮む)	#どうぞ手でつまんで食べてください。「抓、挾」#要点をつまんで話す。「摘取」
409	つらなる(連なる)	#国境近くに山々が連なっていた。「成排、連綿」#国際問題につらなる事件。「牽洪」#委員の末席につらなる。「列席」
410	つらぬく(貫く)	#初志を貫いて、目的の大学に入った。「貫徹、堅持」#運河がしの中央を貫いて流れる。「穿過」
411	つらねる(連ねる)	#修学旅行の一行は、5台のバスを連ねて出発した。「連成一排」
412	てあて(手当)	#給料には家族手当や住宅手当が含まれている。「津貼、補貼」
413	ていぎ(定義)	#美しさの定義は、人それぞれ違うものです。「定義」
414	ていけい(提携)	#関連企業との提携が、唯一残された会社再建の道です。「協作、合作」
415	ていさい(体裁)	#パーティの会場を体裁よく飾る。「門面、様式」#私はお体裁を言えない性格だ。「奉承話」
416	ておくれ(手遅れ)	#医者に見せた時には、病氣はかなり進行していて、もはや手遅れだった。「耽誤、錯過」
417	てがかり(手懸り)	#犯人逮捕の手がかりを、一般市民からの情報によって得た。「綫索、頭緒」
418	てがける(手掛ける)	#彼が手掛けた仕事のほとんどは、人々の高い評価を得ている。「親自動手」
419	てかず(手数)	#忙しいので、あまり手数がかかる料理は作れなかった。「麻煩、周折」#手数は多いが決定打がない。「出拳數」

displayNo	word	word_desc
420	てがる(手軽)	#朝は、時間がないので、パンとコーヒーで手軽に食事を済ませる。「簡単」
421	てきぎ(適宜)	#この料理は、仕上げにパセリを適宜散らすと良いだろう。「酌情、適当」
422	てぎわ(手際)	#彼は手際よく魚を料理した。「手法、本領」
423	でくわす(出会す)	#こんな所であなたとでくわすなんて、思いもよらなかった。「偶然碰見」
424	てじゅん(手順)	#作業に入るまえに手順を確認しておく。「程序、次序」
425	てぢか(手近)	#彼は自分の手近にあった灰皿を差し出した。「手辺、眼前」#てぢかな例を挙げる。「常見、淺近」
426	てつきり(手つきり)	#てつきりあなたの上司だと思い挨拶したが、どうも人違いだったようだ。「一定、必定」
427	てっする(徹する)	#彼らは、夜を徹して、翌日の会議の資料を準備した。「徹(夜)」
428	でなおし(出直し)	#人材が集まらないので、計画は最初から出直しになった。「重新开始」
429	てはい(手配)	#事件の容疑者が、今夜、指名手配された。「通緝」#食事の手配をする。「安排、部署」
430	てはず(手はず)	#手はず通りなら、彼はもう到着している頃だ。「步驟、程序」
431	てほん(手本)	#まず手本を見せますから、後から自分でやってみてください。「範本」#彼は学生のよい手本だ。「模範、榜樣」
432	てまわし(手回し)	#司会者の手回しがよかったので、式は順調に進んだ。「預先籌劃」
433	てもと(手元)	#今あなたの手元にある印鑑をお借りしたいのですが。「身邊、手頭」
434	てんじる(転じる)	#ドラマでは、急に場面が転じて10年後になることがある。「轉換、轉變」
435	てんで	#彼女はてんで作法を知らないので困る。「絲毫、完全、根本」
436	といあわせる(問い合わせる)	#電話で商品について問い合わせる。「打聽、查詢」
437	とう～	#当社のキャッチフレーズはざん新なものにしたい。「本、現在」
438	どうかん(同感)	#記事を読んで、著者の主張には同感できるどころが多々あった。「同感」
439	とうてい(到底)	#これだけ点差をつけられては、とうてい勝てないだろう。「無論如何也」
440	どうとう(同等)	#私は、生徒達を全員同等に扱っているつもりだ。「同等」
441	どうどう(堂々)	#意見を発表する間、堂々とした態度をくずさないようにした。「堂堂正正、無所顧忌」
442	どうにか	#どうにか彼はこの窮地を切り抜けた。「總算、好歹」
443	どうやら	#どうやら雨も上がったようだから、外に出掛けよう。「多半、大概」#10時の飛行機にどうやら間に合いそうだ。「好歹、好容易」
444	とおざかる(遠ざかる)	#汽笛がだんだんと遠ざかる。「離遠」#心臓を患って以来久しく酒とたばこから遠ざかっている。「節制、疏遠」
445	とかく	#12月はとかく忙しくて、おちつかない。「這樣那樣、不知不覺之間」#寒い時にはとかく風邪を引きやすい。「動不動、總是」
446	とがめる(咎める)	#彼は理由もなく人をとがめることはしない。「責備、責難」#深夜、警官にとがめられる。「盤問」#とがめるから傷をいじっちゃいけないよ。「紅腫、發炎」
447	ときおり(時折)	#時折彼はこの家にやってくる。「有時、偶爾」

displayNo	word	word_desc
448	とぎれる(途切れる)	#話がとぎれて気まずい沈黙の時間が流れた。「間斷、中斷」
449	どくじ(独自)	#独自の製品を開発しないと、会社の業績は上がらないだろう。「独自」
450	とげる(遂げる)	#彼は獣医になるという目的を遂げた。「達到、完成」
451	とだえる(途絶える)	#犯人の足どりはここで途絶えている。「中斷、斷絶」
452	とっさ(咄嗟)	#地震が起こった時、私はとっさにガスの火を消した。「猛然、立刻」#とっさの機転。「急中生智」
453	とつじょ(突如)	#突如彼は席を立ち、そのまま教室から出て行った。「突然」
454	とどこおる(滞る)	#朝#夕のラッシュ時は、車の流れが滞る。「堵塞」#事務の滞ったのをかたづけろ。「耽擱、延遲」
455	ととのえる(整える#調える)	#彼女はデートの前に、服装をもう一度整えた。「整理」#交渉をととのえる。「達成、談妥」
456	となえる(唱える)	#彼はこの説を唱えた最初の人だ。「提倡、主張」
457	とぼける(恍ける)	#自分の立場が悪くなると、父はすぐとぼける。「裝胡塗」#恍けるのがうまい。「出洋相、搞滑稽」
458	とぼしい(乏しい)	#もう三ヶ月も失業中なので、貯金が乏しくなってきた。「缺乏」
459	ドライ	#娘はドライな性格だと思われているが、本当はあれで涙もろい。「淡漠、理智」#ドライな取り扱い。「枯燥無味」
460	トラブル	#お客様とのトラブルは絶対避けてください。「糾紛」#エンジントラブルで車が走行不能になる。「故障、事故」
461	とりあえず(取り敢えず)	#母が入院したとの知らせに、とるものもとりあえず病院に駆けつけた。「趕忙、急忙」#とりあえずビールをくれ。「暫時、姑且」
462	とりわけ	#素晴らしい作品ばかりだったが、とりわけ彼女の絵は際立っていた。「尤其、格外」
463	とろける(蕩ける)	#最高級のフランス料理を食べて、舌がとろけそうだった。「溶化」#とろけそうな笑顔。「心蕩神馳」
464	どわすれ(度忘れ)	#先生の名前を度忘れして恥をかいた。「一時想不起來」
465	とんだ	#交通事故で人を死なせるなんて、とんだことをしてしまった。「意外的」#おまえはとんだことをしてくれたね。「嚴重的」
466	ないし	#英語を学ぶために、アメリカないしイギリスに行きたい。「或者」#完成には5年ないし10年かかるだろう。「到、至」
467	ないしょ(内緒)	#花びんを割ってしまったことを、父には内緒にしておいた。「瞞着、秘密」
468	ないしん(内心)	#間に合ったから良かったものの、内心冷や冷やした。「内心、心中」
469	なおさら(尚更)	#熱があるのならなおさらのこと、旅行は中止した方がいい。「更加、越発」
470	なげく(嘆く)	#母は、息子が勉強しないで遊んでばかりいると嘆いた。「嘆惋、哀嘆」
471	なげだす(投げ出す)	#練習がつらくて、途中で投げ出してしまった。「放棄、拋棄」#泥棒は手提げ金庫を投げ出して逃げた。「扔下、甩」#命を投げ出す。「豁出」
472	なごやか(和やか)	#お茶を飲みながら和やかに語り合った。「和諧」
473	なごり(名残)	#冬のなごりの雪が、まだあちこちに見えた。「残餘」#いつまではなくても名残は尽きない。「惜別、依恋」
474	なさけ(情け)	#人の情けにすがるのもよいが、自分の努力が肝心だ。「同情、慈悲」#情けを知る年ごろ。「愛情、恋情」#なさけ容赦もなく。「情面、情義」
475	なさけない(情けない)	#こんなやさしい漢字も書けないなんて、情けない。「令人遺憾、可憐」#試験に不正をやるとは情けない。「可恥、可鄙」

displayNo	word	word_desc
476	なさけぶかい(情け深い)	#情け深い人が、捨てられた子猫を拾って育ててくれた。「仁慈、富於同情心」
477	なじる(詰る)	#他人の失敗をなじるだけでは、問題は解決しない。「責問、責備」
478	なだかい(名高い)	#この村はブドウの産地として名高い。「有名、著名」
479	なつく(懐く)	#犬好きの山田さんにはどんな犬でもよくなつく。「接近、喜歡」
480	なにげない(何気ない)	#何気なく口にした一言が人を傷つけることもある。「無意、無心」#彼は何気ない様子で席についた。「若無其事、假裝沒事」
481	なにとぞ(何卒)	#契約の件は、なにとぞよろしくお願いします。「請...」
482	なにより(何より)	#健康には睡眠が何よりだ。「再好不過、最好」#漫画が何より好きだ。「比什麼都」
483	なまぐさい(生臭い)	#料理した後、魚の生臭いにおいが消しえない。「腥、膻」
484	なまぬるい(生ぬるい)	#真夏の太陽に温められて、海の水は生ぬるくなっていた。「微暖」#そんな生温いやり方ではだめだ。「不太徹底、不太嚴格」
485	なまみ(生身)	#生身の間人だから涙も流すし、興奮して熱くもなる。「肉身、肉體」
486	なめる(嘗める#舐める)	#ネコは体をなめて傷を治す。「舔」#試験をなめてかかったら、0点を取ってしまった。「輕視、小看」#辛酸をなめる。「嘗受、經歷」
487	ならびに(並びに)	#裁判官、検事並びに弁護士は、司法試験に合格しなければならぬ。「以及」
488	なりたつ(成り立つ)	#みんなが法律を守らなければ、社会は成り立たない。「不能維持」#両者の間で契約が成り立ちました。「談妥」#日本は大小多数の島から成り立つ。「構成、組成」
489	なれなれしい(馴れ馴れしい)	#一度お茶を飲んだだけなのに、恋人のようになれなれしい態度をとる。「過分親昵」
490	なんだかんだ(何だ彼んだ)	#学校を卒業してから、なんだかんだで20年になる。「這樣、那樣」
491	なんなりと	#困ったら、どうぞ遠慮せずになんなりと相談してください。「無論什麼、不管什麼」
492	にかよう(似通う)	#あの二人は、姉妹のように顔が似通っている。「相似、類似」
493	にぎわう(賑う)	#年末の大売出しで、デパートはにぎわっていた。「熱鬧、繁華」
494	にげだす(逃げ出す)	#困難にぶつかって逃げ出しては何も解決しない。「逃跑、逃避」
495	にじむ(滲む)	#一生懸命働く父の額には、汗がにじんでいた。「滲」#手紙に思いやりがにじんでいる。「反映出」
496	にせもの(偽者)	#だまされて、にせものの絵を買わされた。「假冒者」
497	になう(担う)	#彼は、次の時代を担う有能な人材だ。「肩負、負擔」
498	にゅうしゅ(入手)	#マイケル#ジャクソンのコンサートの切符は、入手が困難だ。「得到、取得」
499	にんじょう(人情)	#彼は人情が厚いので、困った時は頼りになる。「人情」
500	にんめい(任命)	#開発チームのリーダーに任命されて、責任の重じさを感じた。「任命」
501	ぬけだす(抜け出す)	#経済は、いよいよ不況を抜け出して、好況の局面に入った。「擺脫」
502	ね(音)	#静かな夜、誰かが吹く笛の音が聞こえてきた。「楽音」#つらい練習に音を上げた。「叫苦」
503	ねいろ(音色)	#バイオリンの音色にはどこかさびしさがある。「音色」

displayNo	word	word_desc
504	ねうち(値打ち)	#これは古い品だが、こつとう品としての値打ちはない。「價值」
505	ねじれる(振れる)	#ねじれたくぎは使い物にならない。「彎曲、扭歪」#あいつは性格がねじれている。「乖僻」
506	ねたむ(妬む)	#出世をねたんだ人から、彼はいやがらせを受けた。「嫉妒」
507	ねだる	#結婚10年目の記念に、妻は夫にダイヤモンドの指輪をねだった。「死氣白賴的要求」
508	ねびき(値引き)	#閉店近くになると、食品は一斉に値引きされて安くなる。「降價、減價」
509	ねまわし(根回し)	#会議の前に出席者に根回しておいたので、提案はすんなり通った。「事前講明、打下基礎」
510	ねる(練る#錬る)	#うどんは、粉に水と塩を加えてよく練って作る。「攪拌、揉和」#胆力を錬る。「鍛煉」#構想をねる。「斟酌、推敲」
511	ねんちょう(年長)	#彼は私より3歳、年長だ。「年長」
512	ノイローゼ	#仕事が性格に合わなかったせいで、ノイローゼになった。「神經過敏、神經衰弱」
513	のうにゆう(納入)	#期限までに授業料を納入する。「交納、繳納」
514	のがす(逃す)	#釣り糸が切れて、大きな魚を逃してしまった。「放過、錯過」
515	のがれる(逃れる)	#台風から逃れるために、漁船は進路を変えた。「逃避、擺脫」
516	のきなみ(軒並み)	#隣近所が、軒並み泥棒の被害にあった。「每家」#公共料金がのきなみ値上げされた。「一律」
517	のぞましい(望ましい)	#応募書類は、事前に書いてくることが望ましい。「最好、最理想」
518	のぞむ(臨む)	#十分に準備をして試験に臨んだ「面對、參加」
519	のっとる(乗っ取る)	#飛行機が、武器を持った数人の男に乗っ取られた。「劫持、侵佔」
520	のどか「長閑」	#風もないのどかな春の1日を、恋人と過ごした。「和暖、晴朗」#試験が終わって、長閑な気持ちで一日を送る。「悠閒、寧靜」
521	ののしる(罵る)	#だまされた彼は、相手のことをののしった。「謾骂、咒骂」
522	のべ(延べ)	#この建物の延べ床面積は500平方メートルだ。「共計、總計」
523	はあく(把握)	#あまりに突然だったので、事態を把握するのに時間がかかった。「掌握」
524	はいけい(背景)	#犯罪の背景には、少年時代の貧しい環境がある。「背景」
525	はいご(背後)	#事件の背後に、大物政治家の影がちらつく。「背後、幕後」
526	はいしゃく(拝借)	#事態を解決するために、あなたのお知恵を拝借したい。「幫、借」
527	はいぶん(配分)	#遺産の配分をめぐって、相続人の間で争いが起きた。「分配」
528	はいれつ(配列)	#コンビニやスーパーでは、商品の配列に相当の工夫がある。「排列」
529	はかどる(捗る)	#仕事が思ったよりはかどったので、早く帰ることができた。「進展順利」
530	はかない「儚い#果敢ない」	#10歳のはかない一生を終えた。「短暫」#はかない夢に終わる。「虛幻」
531	はぐ(剥ぐ)	#強盗は、身ぐるみはいですべてを持ち去った。「扒下、剝下」#罰として官位を剥ぐ。「剝奪」

displayNo	word	word_desc
532	はくがい(迫害)	#権力者の迫害に耐えて正義を貫いた。「迫害」
533	はくじょう(白状)	#今だから白状するが、実は昔、悪いことをしたことがある。「坦白、招認」
534	ばくぜん(漠然)	#彼のあいまいな態度に、彼女は漠然とした疑いをもった。「含糊、模糊、隱隱」
535	はげます(励ます)	#傷ついた友人を励ました。「激励、鼓勵」
536	はげる(剥げる)	#壁のペンキがはげたので塗り直した。「剝落」
537	はじく(弾く)	#このコートは防水加工がしてあって水をはじく。「防、抗」#弦を弾く。「弾」
538	はじらう(恥らう)	#彼女は恥じらって、呼ばれてもステージに上がらなかった。「害羞」
539	はじる(恥じる)	#世間に恥じるような行為をしてはならない。「羞愧、慚愧」
540	はしわたし(橋渡し)	#家を売りたい人と買いたい人がいたので、その橋渡しをした。「搭橋、中間人」
541	はずむ(弾む)	#新たな期待にこころが弾む。「情緒高漲」#5階まで駆け上がったら息が弾んだ。「气喘」#お礼は弾むからよろしく頼むよ。「(一高興、一狠心)拿出很多錢」#このボールはよく弾む。「跳、蹦、彈」
542	はそん(破損)	#破損したガラス窓から冷たい風が吹き込んできた。「破損、損壞」
543	はっせい(発生)	#霧が発生したので、高速道路で事故が多発した。「発生」
544	はつみみ(初耳)	#そんなこと知らなかった。初耳だ。「初次聽到」
545	はて(果て)	#冒険を求めて世界の果てまで旅行した。「辺際、尽頭」
546	ばてる	#夏の暑さに、すっかりばててしまった。「疲乏、精疲力竭」
547	はなはだ(甚だ)	#あのチームが負けたのは、はなはだ残念だ。「太、非常」
548	はなばなしい(華々しい)	#若い時は華々しく活躍したが、最近が目立たない。「轟轟烈烈」#華々しい結婚式。「豪華、堂皇」
549	はばむ(阻む)	#氷の割れ目が阻み、冒険家は、それ以上進めなかった。「阻礙、阻擋」
550	はまる(嵌まる)	#型にはまったこれまでの生活を捨て、自由に生きることにした。「束縛、陷入」#その条件にぴったりはまる。「恰好合適」#テレビゲームにはまる。「熱中、入迷」
551	はやす(生やす)	#兄は最近口ひげを生やしている。「留」#ついに彼も、この土地に根を生やした。「扎根、使～生長」
552	はらはら	#運転手がスピードを出すのではらはらした。「捏一把汗、心驚膽戰」#桜の花びらがはらはらと舞う。「飄落」
553	ばらまく(ばら蒔く)	#財布の口が開いていたのに気付かず、小銭をばらまいてしまった。「散布、到處～」
554	はるか(遙か)	#はるかかなたの水平線から朝日が昇ってきた。「遠方、遙遠」
555	はれる(腫れる)	#なぐられて、目の回りがはれた。「腫」
556	はんじょう(繁盛)	#安くてうまいラーメンが評判になって、お店が繁盛している。「繁盛」
557	はんする(反する)	#規則に反すると、罰を与えられる。「違反」#父親の希望に反して学者にはならなかった。「相反」
558	ばんのう(万能)	#この薬は万能で、どんな病気にも効く。「万能、全能」
559	はんぱ(半端)	#みんなで分けたら半端がでたので、ほしい人に余計にあげた。「零碎、零散」#半端な態度はよくない。「不徹底」#半端な人間になるな。「無用的人」

displayNo	word	word_desc
560	はんぱつ(反発)	#学生の反発が強いので、夏休みの補習は中止した。「反抗、反感」#磁石の同極は反発しあう。「排斥」
561	ひいては	#人の世話をすることが、ひいては自分のためにもなる。「不但～而且、進而」
562	ひかえる(控える)	#最近太ったので、甘い物をひかえている。「控制、抑制」#大切なことを手帳にひかえておく。「記録」#戦車部隊が次の攻撃に備えて控えている。「等候、待命」
563	ひかん(悲観)	#いつまでたっても成績が上がらないのを悲観して、退学してしまった。「悲観」
564	ひごろ(日頃)	#彼の成功は、日頃の努力が実を結んだものだ。「平時、平常」
565	ひそか(密か)	#二人は誰にも気付かれず、ひそかに愛し合っていた。「暗中、悄悄」
566	ひたす(浸す)	#干しシイタケは、水に浸して、戻してから料理する。「浸泡」
567	ひたすら(只管)	#彼は、ただひたすら小説を書き続けた。「只顧、一味」
568	ひっかく(引っ掻く)	#猫を無理に抱こうとしたら、つめで腕をひっかかれた。「撓、抓」
569	ひつしゅう(必修)	#英語は必修だが、美術は選択科目だ。「必修」
570	びつより	#暑かったので、汗をびつよりかいた。「湿透」
571	ひつぜん(必然)	#古いものが消え去り、新しいものが主流になるのは、歴史の必然だ。「必然」
572	ひってき(匹敵)	#彼は高校生だが、大人の選手に匹敵する実力を持っている。「匹敵、比得上」
573	ひといき(一息)	#この仕事が終わったら、一息入れてコーヒーでも飲もう。「稍微休息一下」#一息つくひまもないぐらい忙しい。「歇口气」#一息に仕上げる。「一口气」#彼はもう一息のところまで負けた。「一把勁兒」
574	ひとがら(人柄)	#彼女は美人な上に、人柄もいいので、みんなに好かれている。「人品、人格」
575	ひとすじ(一筋)	#彼は忍耐一筋の苦労人なので、失敗してもくじけない。「一心一意」
576	ひとめ(人目)	#逃亡中の犯人は、昼間は人目につくので、夜行動した。「衆目」
577	ひどり(日取り)	#退院の日取りは、今週中に決まる。「日期、日程」
578	ひなた(日向)	#猫が、日向で気持ちよさそうに眠っている。「朝陽的地方」#日向でほこりを立てる。「沒事找事」
579	ひび(罅)	#そのアパートは、建ってから30年にもなるので、壁にひびが入っている。「裂縫、裂紋」#友情にひびが入った。「人的關係發生裂痕」
580	ひやかす(冷やかす)	#新婚の彼を周りの女子社員がいつも冷やかしている。「調侃、開玩笑」
581	ひよっとしたら	#ひよっとしたら雨が降るかもしれないから、傘を持って行こう。「也許、或許」
582	ひらたい(平たい)	#平たい皿に料理を美しく盛り付ける。「平、扁平」#平たい言葉で述べる。「淺頭、簡單」
583	ふい(不意)	#不意に呼び止められて、びっくりした。「冷不防、突然」
584	ブーム	#社交ダンスが、最近ブームになっている。「流行、潮流」
585	ぶかぶか	#靴がぶかぶかだったので、走ったら脱げてしまった。「肥大」
586	ふくれる(膨れる)	#夕食後、お腹がふくれたので、眠くなった。「膨脹」#あの子は、叱られるとふくれた。「噉嘴、不高興」
587	ふさわしい(相応しい)	#ホテルでのパーティーには、その場にふさわしい服装で出かける。「相称、相符」

displayNo	word	word_desc
588	ふしん(不審)	#夜遅く一人でぶらついていたら、不審に思われて、警察に通報された。「可疑」
589	ふしん(不振)	#心配事があって、食欲不振になった。「不佳」
590	ぶつぎ(物議)	#脳死の判定基準が公表され、物議をかもしている。「公衆的批評」
591	ふっきゅう(復旧)	#大地震のあと、懸命の復旧作業が続けられた。「恢復原状」
592	ぶっし(物資)	#災害にあった国に、食料や医薬品などの物資を援助する。「物資」
593	ふとう(不当)	#みんなと同じように働いているのに、私だけ給料が不当に低い。「不合理」
594	ぶなん(無難)	#良く知らない人に対しては、丁寧に接する方が無難だ。「無可非議、説得過去」
595	ふへん(普遍)	#教科書の記述は、普遍的なものが望ましい。「普遍」
596	ふまえる(踏まえる)	#理想もよいが、常に現実を踏まえて計画を立てるべきだ。「依據、根據」#揺れている甲板をしっかりと踏まえた。「踏、踩」
597	ふみこむ(踏み込む)	#表面だけの議論ではなく、もう一步踏み込んだ意見がほしい。「跨進」
598	ふらふら	#徹夜した次の日は疲れてふらふらだった。「摇晃、暈忽忽」#考えがふらふらと定まらない。「遊移不定」
599	ぶらぶら	#暇なので、町をぶらぶらした。「溜達」#定年退職した父は、家でぶらぶらしている。「賦閑」
600	ふり	#お年寄りが困っていたら、知らないふりをせず助けよう。「装作、假装」
601	ふりかえる(振り返る)	#声をかけられて振り返ると、学生時代の友人だった。「回頭看」#過去を振り返って反省する。「回顧、回首」
602	ふりだし(振り出し)	#容疑者が犯人ではなかったことが判明し、捜査は振り出しに戻った。「出發點、最初」#振り出しの日付。「開出(票據)」
603	ふるわせる(震わせる)	#小犬は、雨にぬれて全身を震わせていた。「使～哆嗦」
604	ふんしつ(紛失)	#旅行中パスポートを紛失し、予約した飛行機に乗れなかった。「丢失」
605	ふんだん	#ハリウッド映画は、資金をふんだんに使って作られるので、豪華で面白い。「大量、很多」
606	へいこう(閉口)	#暑い日に、クーラーもないところで、1時間も待たされて閉口した。「受不了、吃不消」#彼は問い詰められて閉口した。「閉口無言」
607	へきえき	#あの人の自慢話にはへきえきする。「感到爲難夠人」
608	ぺこぺこ	#お腹がすいてぺこぺこだ。「餓、空」#上役にぺこぺこする。「點頭哈腰」
609	へだたる(隔たる)	#街から遠く隔たった農村に、彼女は暮らしている。「距離、相隔」
610	べんかい(弁解)	#みんなに迷惑をかけたのだから、弁解するより、まず謝るのが先だ。「辯解」
611	ほうしき(方式)	#正確な統計資料を作るため、新しい計算方式を採用した。「方式」
612	ほうじる(報じる)	#犯人逮捕のニュースが報じられた。「報知」#恩に報じる。「報答」
613	ぼうぜん(茫然)	#地震で家が全壊し、しばらくぼう然としていた。「茫然若失」
614	ほうりこむ(放り込む)	#突然お客さんが来たので、荷物を押し入れに放り込んだ。「投入、扔進去」
615	ほうりだす(放り出す)	#疲れると、勉強を放り出してテレビを見る。「放棄、丟開」#学校を放り出される。「開除」

displayNo	word	word_desc
616	ぼける(惚ける#呆ける#暈ける)	#この写真はビントがぼけている。「模糊」#年を取って頭がぼけてしまった。「糊塗、發呆」
617	ほころびる(綻びる)	#古いシャツの縫い目がほころびていた。「開綫」#梅の蕾が綻び始める。「綻開」
618	ほっさ(発作)	#彼の自殺は、遺書もなく、発作的なものだったらしい。「突然性的、發作性的」
619	ぼっしゅう(沒收)	#ブランド品のにせものを製造していた業者が逮捕され、製品は全部沒收された。「沒收」
620	ほっそく(発足)	#ボランティアの連絡組織が発足した。「成立」
621	ほっと	#けがが意外と軽かったので、ほっとした。「松了一口氣」
622	ほどける(解ける)	#固く結んであったので、ひもがなかなかほどけなかった。「解開、松開」
623	ほどこす(施す)	#救急車が到着する前に、応急処置を施した。「施行」#恩恵を施す。「周濟、施捨」#おのれの欲せざるところを人に施すことなれ「己所不欲勿施於人」
624	ほとり	#そのホテルは、湖のほとりにあって景色が良かった。「邊、畔」
625	ぼやく	#彼は、給料が安いと、いつもぼやいている。「嘟囔、發牢騷」
626	ぼやける	#霧のため、景色がぼやけてよく見えない。「模糊、不清楚」
627	ほろびる(滅びる)	#千年続いた王国は、隣国との戦争に敗れ滅びた。「滅亡、滅絶」
628	ほんかく(本格)	#画家の弟子になって、油絵を本格的に学んだ。「正規、正式」
629	ほんね(本音)	#本音を聞き出そうとしたが、彼はなかなか明かそうとしなかった。「真心話」
630	ほんば(本場)	#上海で本場の中華料理を味わう。「發源地」
631	まえおき(前置き)	#前置きは抜きにして、すぐに本題に入ろう。「開場白」
632	まえもって(前もって)	#前もって地図で調べておいたので、道に迷わないですんだ。「事先、預先」
633	まかなう(賄う)	#生活は夫の給料で賄っている。「維持、提供」
634	まぎらわしい(紛らわしい)	#最近は似たような名前の会社が多いので、紛らわしい。「容易混淆、不易分辨」
635	まぎれる(紛れる)	#たいくつな時、音楽を聞いていると、気が紛れる。「解悶、排遣」
636	まごつく(間誤付く)	#初めてのところなので、何がどこにあるのかわからず、まごついた。「茫然不知所措」
637	まことに(誠に)	#わざわざお見舞いにきていただき、まことにありがとうございました。「實在、非常」
638	まさしく(正しく)	#食器といってもここまで美しく仕上げてあると、これはまさしく芸術だ。「的確、沒錯」
639	～まし	#ランチにコーヒーをつけると、100円増しになります。「増加、增多」#こんなものなら、ないほうがましだ。「比～好些」
640	まじえる(交える)	#講師は冗談を交えて面白く話したので、難しい講義も退屈しなかった。「夾雜、參雜」#言葉を交える。「交換」
641	まして(況して)	#健康な人でさえ、この暑さはこたえる。まして病人は、なおさらだ。「何況、況且」
642	マスコミ(マスコミュニケーション)	#その小説は、テレビや雑誌などのマスコミに取り上げられ、売れ行きが伸びた。「宣傳媒介」
643	またがる「跨る」	#登山ルートは、富山県と長野県にまたがっている。「橫跨」

displayNo	word	word_desc
644	まちどおしい(待ち遠しい)	#7月になると、夏休みが待ち遠しい。「盼望、急切等待」
645	まちのぞむ(待ち望む)	#待ち望んでいた友人との再会が、やっと実現した。「期待、殷切希望」
646	まちまち(区々)	#学生の国籍はまちまちで、中国人もいればアメリカ人もいる。「形形色色」
647	まぬがれる(免れる)	#彼だけホテルのフロントに貴重品を預けておいたので、盗難の被害を免れた。「避免、擺脫」
648	まばたき(瞬き)	#びっくりして、まばたきもせずに相手の顔を見つめた。「眨眼」
649	まひ(麻痺)	#脳の血管が詰まり、手足がまひして動かない。「麻痺」#地震で交通機関がまひする。「癱瘓」
650	まるごと(丸ごと)	#リンゴを切らないで、丸ごとかじる。「整個、完整」
651	まるっきり	#朝からずっと釣りをしているが、まるっきり釣れない。「全然、根本」
652	まるまる	#赤ん坊は、まるまると太っていた。「蜷曲」
653	まるめる(丸める)	#大きな紙を丸めて筒に入れる。「揉成團」
654	まんじょう(満場)	#提案は満場一致で可決された。「全場」
655	みあわせる(見合わせる)	#台風が近づいているというので、出発を見合わせた。「暫停、推遲」#諸条件を見合わせた上で決める。「比較、對照」
656	みおとす(見落とす)	#数字の間違ひを見落とし、会議で指摘されて恥をかいた。「看漏、忽略過去」
657	みかく(味覚)	#スイカは、夏の味覚として親しまれている。「味覚」
658	みぐるしい(見苦しい)	#子供の前で、夫婦げんかをするのは見苦しい。「難看、沒面子」
659	みこみ(見込み)	#雨は今日いっぱい降り続く見込みだ。「估計」#将来見込みのある人物。「希望」
660	みじん(微塵)	#たまねぎをみじん切りにする。「碎末」#もうけるつもりはみじんもない。「一点」
661	みすばらしい	#服装はみすばらしいが、彼は有名な学者だ。「寒磣、破舊」
662	みせびらかす	#新しい車を買ったので、みんなに見せびらかしている。「賣弄、炫耀」
663	みたす(満たす)	#大きなコップになみなみとビールを満たす。「充滿」#長い間の希望を満たす。「満足」
664	みだす(乱す)	#風が吹いてきて、私の髪を乱した。「弄乱」
665	みぢか(身近)	#身近に知っている人がいないと、何かあった時に不安だ。「身邊、近旁」
666	みっしゅう(密集)	#密集した住宅地のため、火はまたたく間に広がった。「密集、稠密」
667	みっせつ(密接)	#日本とアメリカは、経済的に密集な関係にある。「密切」
668	みつもり(見積り)	#建設会社に、建築費の見積りを出させる。「估價」
669	みとおし(見通し)	#建物は今週中に完成する見通した。「預料、推測」#見通しのきく場所。「瞭望、眺望」#おまえの考えていることは何もかも見通した。「看穿」
670	みなす(見なす)	#30分以上の遅刻は欠席とみなす。「看作、認為」
671	みなり(身なり)	#立派な身なりをしていたので、お金持ちだと思った。「裝束、服飾」

displayNo	word	word_desc
672	みのうえ(身の上)	#彼は、少年時代に両親を失った不幸な身の上を語った。「身世、境遇」
673	みのがす(見逃す)	#子供のいたずらだから、見逃してやろう。「饒恕、寛恕」#これは見逃せない映画だ。「錯過看得機會」#せっかくのいい機会を見逃した。「放過、放跑」
674	みのまわり(身の回り)	#「火事だ!」という声に、身の回りのものだけ持って逃げた。「身邊衣物」#身の回りの世話をする。「日常生活」#身の回りをきれいにしておく。「應該自己處理的事」
675	みはからう(見計らう)	#帰宅する時間を見計らって、友人を訪ねた。「斟酌、估計」
676	みはらし(見晴らし)	#彼の家は丘の上に建っているの、見晴らしがいい。「眺望、景致」
677	みぶり(身振り)	#外国語が分らなくても、身振り手振りで何とか通じる。「姿態、動作」
678	みれん(未練)	#仕事に未練はあったが、出産を機に会社を辞めることにした。「依戀、戀戀不捨」
679	みわたす(見渡す)	#大火事の被害にあった町は、見渡す限り焼け野原だった。「放眼望去」
680	むくち(無口)	#いつも無口なのに、今日はうれしいことがあったのか、よくしゃべる。「沉默寡言」
681	むしる	#タラの干物をむしって食べる。「撕、揪、拔」
682	むだづかい(無駄遣い)	#夏は雨が少なく、水不足になるので、水の無駄遣いはやめよう。「浪費」
683	むちゃ	#若い人は、むちゃな運転をして事故を起こしやすい。「胡亂、亂來」
684	むなし(空しい)	#いくら働いても、生活が楽にならないので、空しい。「空虚」#むなしく1時間待った。「白白、徒然」
685	むやみに(無闇に)	#むやみに山の木を切ると、洪水の原因になる。「過度、過分」#むやみに他人を信じてはいけない。「隨便、輕率」
686	むら(斑)	#ペンキの塗り方にむらがあって、濃いところと薄いところがある。「不均勻、有斑點」#成績にむらがある。「參差不齊」
687	むろん(無論)	#駅まで遠いと、通勤には無論、買い物にも不便だ。「不用說」
688	めいちゅう(命中)	#弾が命中して、鳥が落ちてきた。「命中」
689	めいはく(明白)	#調査の結果、川の水は予想以上に汚染されていることが明白になった。「明顯」
690	めいりょう(明瞭)	#発音が不明瞭で、何を言っているのかよく聞き取れなかった。「明瞭、明確」
691	めくる	#月が変わったので、カレンダーをめくる。「揭下、翻」
692	めざましい(目覚しい)	#第二次世界大戦後、日本はめざましい発展を遂げた。「驚人、異常顯著」
693	めつき(目つき)	#父は厳しい目つきで、いたずらをした息子をにらんだ。「眼神」
694	めど(目処)	#工事が遅れていて、完成のめどがつかない。「目標」
695	めもり(目盛り)	#太陽が朝から照りつけて、温度計の目盛りが30度を超えた。「刻度」
696	めんする(面する)	#その部屋は大通りに面しているので、車の音がうるさい。「面對、面向」
697	めんぼく(面目)	#先生の推薦で会社に入社したのだから、頑張らないと先生の面目が立たない。「臉面」
698	もうける(設ける)	#社内に保育所を設けたので、小さい子を持つ母親が働きやすくなった。「設立」
699	もうしいれる(申し入れる)	#事故が多い交差点に信号をつけるように、警察に申し入れた。「提出意見」

displayNo	word	word_desc
700	もうしでる(申し出る)	#急いている人は申し出てください。「報名、提出」
701	もうしぶん(申し分)	#卒業論文は、申し分ないほどよくできています。「欠缺、缺點」
702	もがく	#小さな子が、プールでおぼれそうになってもがいている。「掙扎」
703	もくろみ(目論見)	#競馬でひともうけしようというもくろみはずれて、大損をした。「計画、策劃、企圖」
704	もしくは(若しくは)	#解答用紙には、鉛筆もしくはシャープペンシルで記入すること。「或者」
705	もたらす(齎す)	#投手力の充実が、このチームに優勝をもたらした。「帶來、造成」
706	もちきり(持ち切り)	#町は、昨夜UFOが空に浮かんでいたという噂で持ち切りだ。「始終談論一件事、淨談」
707	もっか(目下)	#その件については、もっか検討中なのでもう少しお待ちください。「當前、目前」
708	もっぱら(専ら)	#最近忙しいので、もっぱら外食だ。「主要、淨」
709	もてなす(持て成す)	#外国からのお客様を、日本料理でもてなした。「款待、招待」
710	ものずき(物好き)	#お金にもならない研究を、一生懸命やるなんて物好きな人だ。「好事」
711	ものたりない(物足りない)	#一泊だけではものたりない気がして、もう一日泊まることにした。「不能令人十分滿意」
712	もはや(最早)	#病氣は、もはや治療できないほど進行していた。「(事到如今)已經」
713	もめる(揉める)	#もうけたお金の配分をめぐって、仲間同士でもめた。「發生爭執、起糾紛」
714	もよおす(催す)	#運転中眠気を催したので、車を止めてしばらく眠った。「感覺要、有... 征兆」#このホールでは2000人の宴会を催すことができる。「舉辦」
715	もらす(漏らす)	#秘密を漏らさないように注意する。「洩漏」
716	もろい(脆い)	#雨で地盤がもろくなっているので、崖崩れに注意が必要だ。「易壞、脆弱」
717	もろに	#小船が大波をもろに受けて、沈んでしまった。「迎面、迎頭」
718	やがい(野外)	#雨のため、野外でのパーティーは中止になった。「野外」
719	やけに	#今日はやけにお客が多くて、閉店前に売切れてしまった。「(多得)厲害、要命」
720	やしなう(養う)	#夫の収入だけで家族4人を養っている。「養活」#自宅で病氣を養う。「休養」#良い習慣を養う。「培養」
721	やしん(野心)	#彼は入社した時から、社長になるという野心を持っていた。「野心」
722	やすっぽい(安っぽい)	#革製と比べて、ビニール製の靴は安っぽく見える。「俗氣、庸俗」
723	やせい(野生)	#山に近い村には、時折、えさを求めて野生の猿がやってくる。「野生」
724	ややこしい	#話すとややこしいので、図に書いて説明します。「複雜、麻煩」
725	やりとおす(遣り通す)	#一度やると決めたことはやりとおす。「做到底」
726	やりなおす(遣り直す)	#何度もやりなおす。「重做、再做」
727	ゆうずう(融通)	#アパートを借りるのにお金が必要なので、親に融通してもらった。「通融」#融通のきかない人。「臨機應變」

displayNo	word	word_desc
728	ゆうぼう(有望)	#将来有望な新人がチームに加わった。「有前途、有希望」
729	ゆがむ(歪む)	#あまりの痛みに、彼の顔がゆがんだ。「歪曲」
730	ゆさぶる(揺さぶる)	#演奏のすばらしさに、心を揺さぶられた。「震撼」#幹を揺さぶって実を落とす。「揺動」
731	ゆすぐ(濯ぐ)	#うがいをすると同時に、口をゆすぐ。「漱、涮洗」
732	ゆとり	#忙しい現代人には、ゆとりが欠けている。「余裕、余地」
733	ゆらぐ(揺らぐ)	#風で木の葉が揺らいでいる。「揺動、摇晃」
734	ゆるむ(緩む)	#靴のひもが緩んだので、結び直す。「松动」#仕事が一段落して気が緩む。「松懈」#制限が緩む。「緩和、放宽」
735	ようする(要する)	#その仕事には、少なくとも一週間を要する。「需要」
736	ようするに(要するに)	#要するに彼があきらめればよいのだ。「總之」
737	よける(避ける)	#水たまりがあったのでよけて通った。「躲避」
738	よそみ(余所見)	#授業中、よそ見をしていて先生にしかられた。「東張西望」
739	よち(余地)	#避難所は住民たちでいっぱい、足をのぼす余地もないほどだった。「空地、余地」
740	よふかし(夜更かし)	#友達とお酒を飲んで夜更かししてしまい、朝起きられなかった。「熬夜」
741	よふけ(夜更け)	#テストの前日は、夜更けまで勉強していた。「深夜」
742	よほど(余程)	#あのおとなしい彼が怒るなんて、よほどのことがあったに違いない。「很、頗、相當」#よほどやってみようかと思う。「很想、差一點就」
743	よりかかる(寄り掛る)	#子供は疲れていたのか、いすの背によりかかって寝てしまった。「依靠」#いつまでも親によりかかってはいられない。「依頼」
744	やがい(野外)	#雨のため、野外でのパーティーは中止になった。「野外」
745	やけに	#今日はやけにお客が多くて、閉店前に売切れてしまった。「(多得)厲害、要命」
746	やしなう(養う)	#夫の収入だけで家族4人を養っている。「養活」#自宅で病気を養う。「休養」#良い習慣を養う。「培養」
747	やしん(野心)	#彼は入社した時から、社長になるという野心を持っていた。「野心」
748	やすっぽい(安っぽい)	#革製と比べて、ビニール製の靴は安っぽく見える。「俗氣、庸俗」
749	やせい(野生)	#山に近い村には、時折、えさを求めて野生の猿がやってくる。「野生」
750	ややこしい	#話すとややこしいので、図に書いて説明します。「複雑、麻煩」
751	やりとおす(遣り通す)	#一度やると決めたことはやりとおす。「做到底」
752	やりなおす(遣り直す)	#何度もやりなおす。「重做、再做」
753	ゆうずう(融通)	#アパートを借りるのにお金が必要なので、親に融通してもらった。「通融」#融通のきかない人。「臨機應變」
754	ゆうぼう(有望)	#将来有望な新人がチームに加わった。「有前途、有希望」
755	ゆがむ(歪む)	#あまりの痛みに、彼の顔がゆがんだ。「歪曲」

displayNo	word	word_desc
756	ゆさぶる(揺さぶる)	#演奏のすばらしさに、心を揺さぶられた。「震撼」#幹を揺さぶって実を落とす。「揺動」
757	ゆすぐ(濯ぐ)	#うがいをすると同時に、口をゆすぐ。「漱、涮洗」
758	ゆとり	#忙しい現代人には、ゆとりが欠けている。「余裕、余地」
759	ゆらぐ(揺らぐ)	#風で木の葉が揺らいでいる。「揺動、揺晃」
760	ゆるむ(緩む)	#靴のひもが緩んだので、結び直す。「松動」#仕事が一段落して気が緩む。「松懈」#制限が緩む。「緩和、放宽」
761	ようする(要する)	#その仕事には、少なくとも一週間を要する。「需要」
762	ようするに(要するに)	#要するに彼があきらめればよいのだ。「總之」
763	よける(避ける)	#水たまりがあったのでよけて通った。「躲避」
764	よそみ(余所見)	#授業中、よそ見をしていて先生にしかられた。「東張西望」
765	よち(余地)	#避難所は住民たちでいっぱい、足をのぼす余地もないほどだった。「空地、余地」
766	よふかし(夜更かし)	#友達とお酒飲んで夜更かししてしまい、朝起きられなかった。「熬夜」
767	よふけ(夜更け)	#テストの前日は、夜更けまで勉強していた。「深夜」
768	よほど(余程)	#あのおとなしい彼が怒るなんて、よほどのことがあったに違いない。「很、頗、相當」#よほどやってみようかと思う。「很想、差一點就」
769	よりかかる(寄り掛る)	#子供は疲れていたのか、いすの背によりかかって寝てしまった。「依靠」#いつまでも親によりかかってはいられない。「依頼」